

あをがき

誌名は古事記に詠まれた「やまとは 国のまほろば たたなづく 青垣 山ごもれる 大和し うるはし」のうたに由来しています。
奈良盆地を取り囲む青垣（あをがき）の山々のように、みんなで手を取り合ってゆこう、との思いを表しています。

1

Vol.504

Take Free

ご自由にお取りください

いきなり団子
深吉野よもぎ



今月のお知らせ

特集

ならコープボランティアグループ
男女共同参画研究会“いこ～る”

今月の掲示板

インフォメーション

安心してらせる地域づくりのために 「たすけあい・ささえあい・わかちあい」

ならコープは、
組合員や地域の人たちが安心してらせる地域づくりに向け、
くらしの変化に対応し続けています。



吉野事業所でフリルレタス水耕栽培



ならコープwith ローソン 真美ヶ丘店試食会



ならコープタ食宅配



田原本物流センター



あすならハイツ恋の窪まつり



吉野事業所 奈良桜よしの天然水製造



コープあったか便買物支援バス



コープあったか便移動店舗



コープあったか便



コープなんごうでの食育活動「おいしい楽しいdeヘルシー」



(一社)かわかみらいふによるならコープ宅配業務委託

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。
昨年は、旧コープ真美ヶ丘をならコープwithローソン真美ヶ丘店として6月に、コープ六条の移転店舗となるコープ七条を11月にそれぞれ開店し、ならコープ第10次、11次中期計画で「未来のために」そして「安心してらせる地域づくりのために」「たすけあい・ささえあい・わかちあい」をテーマにすすめてきた大型の施設投資計画はほぼ完了することができました。

また、多様化した組合員の生活スタイル、ニーズに応じた買い物やくらしをサポートできるよう、これまで班という仕組みを基盤に構築運用してきた無店舗事業のシステムを、組合員一人ひとりに対応した事業展開ができるCo・CRMシステムに、昨年10月末に移管しました。新システムは実稼働しながら調整せざるを得ないこともあり、無店舗のご利用で一部ご不便をおかけしたこと、お詫び致します。誠に申し訳ございませんでした。現在は、次年度の第12次中期計画策定に向けて、システムを活用して

きめ細やかなサービスやコミュニケーションをどう具体化するかの検討を始めています。

さて、昨年あをがき10月号で取り上げた「エシカル(倫理的)消費」は、持続可能な社会に配慮したくらし方を大切にしようという取り組みで、ならコープエシカル月間(10・11月)を中心に、学習活動、特徴的な商品の普及活動を組合員のつどいや共同購入や店頭で取り組み、エシカル消費への賛同の声と関連商品のご利用を多くいただきました。利用結集により、レッドカットキャンペーン、コアノンスマイルスクールプロジェクトによるユニセフ募金、コープ化粧品によるピンクリボン運動への募金につながりました。ご協力ありがとうございました。職員も組合員も一緒に学びあい広めあうスタイルは、「協同の力でよりよいくらし、地域、社会を実現する」生活協同組合ならではのエシカル消費の取り組みです。

43年の歴史の中で設立当初から組合員数は約150倍の27万人台となりました。この流れの中で、組合員の想いは、商品や食に関することだけでなく、環境やエネルギー問題、福祉、平和、子育て、防災・災害支援など社会的課題にも寄せられ、事業や活動の多様な展開につながっています。ならコープの組合員としては、ならコープのエシカルさについて関心をもち、これからも意見を寄せ続けることも大切にしたいです。

くらしのサポートなど、いろんな場面でありがとうという声、期待の声もいただいています。それら一つひとつが組合員と接する現場の職員、それをサポートする本部の職員、そしてならコープグループや取引先の方々の仕事によって支えられていることに関心をむけることも生協のエシカル消費の取り組みとしていければと願っています。

組合員のくらしに役立ち、地域や社会に役立つ場面を、組合員と職員の様子中心に紹介させていただきましたので、合わせてご覧ください。

本年がより良い年であるよう、またみなさまのご健勝を願いまして、わたくしからの挨拶とさせていただきます。



市民生活協同組合
ならコープ
理事長 中野 素子

CO・OP
商品探訪

No.20

いきなり団子 深吉野よもぎ



〔本社工場〕
熊本県阿蘇郡西原村
株式会社徳山交流館 西原の里
熊本県阿蘇郡西原村小森2115-3



株式会社徳山交流館 西原の里

応援を励みに 再起した 熊本の郷土菓子



昔ながらの素朴な味

熊本県の郷土菓子として知られる「いきなり団子」。さつまいもを輪切りにし、小麦粉を練り合わせた生地で包んで茹で、子どもたちにおやつとして食べさせたのが始まりという。昔は各家庭でも作られていたそう

で、「ふるさとの味」として熊本の人々に親しまれている。今では、あんこも一緒に包むようになり、より一層おいしく進化。ほくほく甘いさつまいもとあんこの絶妙な組み合わせ。昔ながらの素朴な味が観光客にも

人気で、熊本名物として土産物店などでも販売されている。

この団子の生地に奈良・東吉野村産

のよもぎを練り込んで作られたのが

「いきなり団子 深吉野よもぎ」だ。

熊本と奈良のコラボ

で代々受け継がれているという。

「いきなり団子 深吉野よもぎ」

に使われるよもぎは、東吉野村の深吉野よもぎ加工組合（岡本輝雄代表）が生産。もともと同村では、山な

どに多く自生しているが、栄養価が

高く抗菌作用もあることから、貴重

な地域資源として1999年から

休耕田を利用した栽培が始まった。

農業の使用量や栽培方法にこだわ

り、香りが良く、灰汁の少ないのが

特徴で、粉末やお茶、入浴用、薬草用

などとして加工販売している。各方

面で良質なよもぎとして取り引き

されるようになり、地域活性化にも

つながっているという。

東吉野村のよもぎ栽培に注目し

たならコープは、「吉野共生プロジェクト」の環として、同村のよもぎを

使った商品開発を検討。以前から萌

の里と取引があった株式会社CWS

（ならコープのグループ会社）との縁

もあり、熊本と奈良の食のコラボ

レーション商品として「いきなり団

子 深吉野よもぎ」が2015年秋

に誕生した。

震災からの再起

商品化された矢先の2016年

4月、2度にわたる大きな揺れが

熊本県を襲った。西原村は、倒壊した

家屋の様子などが連日報道された

益城町に隣接。前震で震度6弱、

本震で震度7を記録した。萌の里

は、店舗自体は無事だったが、施設内

の陳列棚や厨房設備などは倒れ、

商品は床にたたきつけられるように

散乱。店舗周辺のアクセス道路や

橋、トンネルなども寸断された。従

業員もほとんどが避難生活を強い

られ、生きていくのに精一杯だった。

3日目にやっと店舗にたどりつけた

という萌の里の次長・寺本篤史さん



は「再開するには1年くらいかかるかも…」と不安に思ったという。

地震が起きたのは、ちょうどさつまいもの苗の植え付けが始まる頃だった。「畝が崩れ、畑全体が平たくなってしまうほど揺れた」と話すのは、生産者の一人で、栽培歴40年以上の山口圭介さん。自宅は半壊し、貯蔵庫に保管していたさつまいもは崩れ、一部は腐って出荷できなくなつた。しかし、そんな状況に耐えながらも苗の植え付けをおこない、その年も何とか収穫までこぎつけた。



西原村から阿蘇・外輪山を望む。一帯はさつまいもの栽培に適した火山灰土壌が広がる

『いきなり団子 深吉野よもぎ』ができるまで



①よもぎ入りの生地



②あんこを乗せる



③団子のサイズに輪切り



④さつまいもの皮をむく



⑤蒸し上がった団子



⑥生地をのばしながら包む



⑦冷凍保存して出荷



⑧一つひとつ包装

今回の商品紹介 「いきなり団子 深吉野よもぎ」

次回案内予定／3月1回

共同購入



商品プレゼント

(株)俵山交流館萌の里さんからの協賛で、西原村の特産さつまいも「シルクスイート」(5kg)を10名様にプレゼントします。

ハガキに、住所・氏名・年齢・組合員番号を記入の上、「あをがき」への感想、または、このページで取り上げてほしい商品とその理由を書いて、〒630-8503 ならこプ「あをがき1月号プレゼント係」までお送りください。(1月31日〆切)※宛先住所記入は不要です



(株)俵山交流館萌の里
寺本篤史さん



11月号プレゼント「北海道産はたて貝柱」の当選者は

野中 理恵子さん(大和郡山市)・伊藤 弘子さん(上牧町)・丹波 幾久子さん(奈良市)・大橋 栄理さん(奈良市)・塩見 英津子さん(大和郡山市)でした。おめでとうございます。(応募総数259通)



収穫の様子

熊本・奈良のみんなが笑顔になれる商品を

地震から約1ヵ月後、萌の里の従業員たちは互いに励まし合い、仮設の加工所で、いきなり団子の製造を再開。「ならこプのみなさんは被災した直後から救援物資を届けてくれ、たくさん応援メッセージで私たちを励ましてくれました。それに応えるためにも、一日も早く『いきなり団子 深吉野よもぎ』を皆さんにお届けしようと思つて頑張ってきました」と振り返る。

元の店舗で製造を再開できたのは地震から11ヵ月後の2017年3月。現在、道路の復旧も進み、来場者も徐々に増えてきているという。しかし、「さつまいもの生産者たちがまだ地震前の状態に戻っていない」と寺本さんは話す。「ならこ

さつまいも栽培歴40年の山口圭介さん

豆知識「いきなり団子」の由来

「いきなり」とは地元の古い方言で「簡単」という意味もあり、いきなり団子とは、「簡単に作れる団子」の意ともされています。短時間でいきなり(簡単に)作れるという意味と、来客がいきなり来てもいきなり出せる菓子という意味と、生のさつまいもを調理する「生き成り」という語句の意味が重なっていると言われています。



プのみなさんとは『いきなり団子 深吉野よもぎ』を通じて、これからも息の長いおつきあいをお願いしたい。生産者たちの笑顔がさらに広がるよう、そして、いきなり団子を食べてみなさんが笑顔になっていただけるよう、私たち従業員も力を合わせ頑張っていきます」。



もっと知りたい!ならコープ「コープあったか便お買い物サイト」



「お買い物サイト」利用者の声——♡

- ♡子どもが小さく、雨の日や重たいものなどの買い物は非常に不便でしたが、今では「お買い物サイト」を使って外出することなくお買い物しています。
- ♡こまどり便も利用していますが、購入し忘れた商品や足りなくなった商品の購入など、気が付いた時に注文でき、当日または翌日には届けてもらえるので助かっています。
- ♡パソコンやスマホは苦手な世代で、こういったサイトは利用したことがありませんでした。でも今では「お買い物サイト」を見ておすすめ商品や特売商品を見るのが楽しみです。
- ♡家族の急病でお買い物に出られない時に利用しました。他のスーパーと違って「お買い物サイト」と店頭価格が連動しているので、安心して利用できます。

「コープあったか便お買い物サイト」(コープおしくま、コープみみなし)

インターネットでご注文いただいた商品を直接店舗からお届けするサービスです。

2016年1月からコープおしくま、2017年6月からコープみみなしでサービスを開始しました。お買い物サイトで注文いただいた商品は、コープあったか便の買物代行と同様、組合員さんがお買い物されるように職員が商品を選んでお届けします。

お届けできない地域もございます。

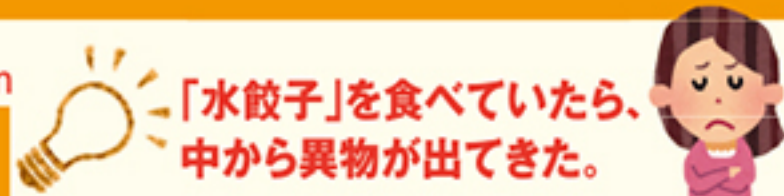
詳細に関するお問い合わせは

コープおしくま あったか便係 ☎0742-41-1700
コープみみなし あったか便係 ☎0744-41-3500



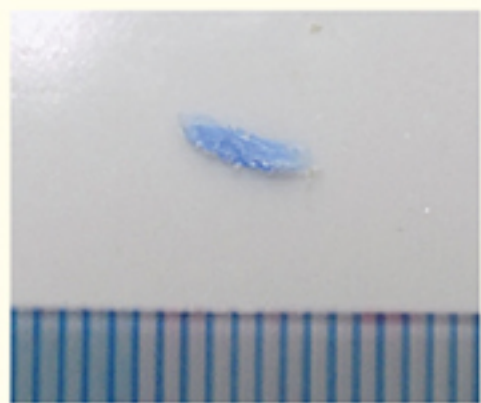
This month's question

今月の質問



「水餃子」を食べていたら、中から異物が出てきた。

製造工程の確認をおこないましたところ、原料の白菜やキャベツの保管に使っているコンテナにバリ(製品加工時に出来た余分な隆起部分)があったことから、そのバリが製品に混入した可能性が考えられました。そのため、すべてのコンテナを確認し、バリがあるものは除去しました。今後、コンテナは作業開始前、洗浄後にバリなどの異物がないかを目視確認し、設備類についても異物がないかを確認することとしました。



「CO・OPレトルト赤飯」以前届いた商品は今回届いたものと比べ硬い。なぜ硬さが違うの?

製造元で水分の測定と試食を行いました。その結果、水分値に問題なく、食感、食味とも良好で、工場保管品と比較しても違いはありませんでした。もち米は、水を加えて加熱することで、デンプンが糊のように粘りのある状態になります。その後時間が経過すると、デンプンとよく混ざっていた水分が抜け出て、徐々に粘り気を失い硬くなります。この現象は、温度(気温)の影響を受け、温度が低い場所では早く進行する傾向がみられます。

このたびは、製造後の時間経過と温度による変化が関係し、お申し出いただいたと思われました。なお、硬さに違いがあっても、賞味期限内で密封が保たれていれば、調理方法にしたがって加熱していただくことで、おいしくお召し上がりいただけます。



ご意見・ご要望は

コープベル 0120-445-151までお気軽にお電話ください。(月~土 10:00~17:00)
※商品についての連絡は、配達担当またはコールセンターまでご連絡ください。

11月度 ならコープの産地・工場点検実績表

※商品調達部門・品質保証部門と合同で点検を実施しているものをそれぞれ含んでいます。

点検部署	実施数	主な点検先
商品調達部門点検	3社の取引先	千倉水産加工販売(水産)、(株)SOミート(畜産)、アンリッシュ食品工場(お節)の点検を実施しました。
品質保証部門点検	5社の取引先	大山乳業農業協同組合(乳)、奈良県養鶏農業協同組合GPセンター(鶏卵)、(株)寺田商店(日配)、(株)椿き家(日配)、(株)コープベーカーリー六甲アイランド食品工場(日配)の点検を実施しました。
コープネットの見学	1社の見学	1コープネット15人、(株)J-オイルミルズの見学を実施しました。

ならコープ新システム移行にともなう不具合へのお詫び



News of this month

今月のお知らせ

ならコープでは、事業における発注から集品、配達、請求にいたる一連の業務システムを、10月末から新しいシステムに移行しました。旧システムは、これまで43年にわたり事業基盤を支えてきましたが、将来にわたり多様なくらしに対応していくことと事業の効率化を目的に、全面的にシステムを切り替えました。移行にあたり、充分に準備をすすめてきましたが、想定を上回る不具合が発生し、組合員へご迷惑をお掛けすることとなりました。誠に申し訳ございませんでした。

不具合の詳細につきましては、該当される組合員個別にお詫びし対応させていただいております。

新システムは、配達では班を中心とした事業の考え方から個人をベースに、そして週単位のサイクルから日単位のサイクルにした考え方で組合員のくらしの変化に対応するものです。ならコープは、これから末永く組合員のくらしに貢献することを展望し、未来に向かって歩みをすすめてまいります。何卒、ご理解、ご了承いただけますようお願い申し上げます。

天理市と「住民の買物支援事業に関する覚書」を締結しました

昨年11月20日(月)、天理市役所において、天理市とならコープは「住民の買物支援事業に関する協定」を締結しました。天理市との協定は、地理的条件や加齢、その他の要因により買い物が困難となっている住民の生活機能を維持するため、両者での協力体制を構築し、市民の買い物を支援する事業の実施に関するものです。



今後さらに増加が懸念される買い物困難者に対し、移動店舗車の停留場所として公民館や集会所の敷地を活用するなど、両者の連携によってサポート体制を強化するとともに、安心してくらし続けられる地域づくりの実現をめざします。この度の締結式で並河天理市長は、「官民連携の一つのモデルとして住民をはじめ大変期待をしている。これまで限定的な使用用途であった公民館や集会所を地域コミュニティの場として、多様な活用をすすめてい」と期待を述べられました。

川上村水源地の村「未来への風景づくり」へ協賛企業と“ふれあいまつり”を開催

昨年11月11日(土)川上村旧白屋地区において、川上村を応援する「未来への風景づくり」協賛企業・団体がつどい、村民との交流を楽しむ第3回ふれあいまつりが開催されました。旧白屋地区は、大滝ダムの試験湛水により、地滑りが発生し、住民は集団移転を余儀なくされました。同村では、その地を企業・団体との協業により、かつてのこの地の人のぬくもりと、緑の景観を再生するプロジェクト「未来への風景づくり」に取り組んでいます。ならコープも協賛し、9月には学習会と下草刈りをおこないました。ふれあいまつりには、組合員、プロジェクト協賛企業・団体関係者、村民あわせて約500人が参加。もちつき大会をはじめ特産品販売や協賛企業ブース、歌謡ショー、お楽しみ企画で大いににぎわいました。

吉野町植樹祭をならコープ吉野事業所で開催しました

昨年10月28日(土)ならコープ吉野事業所で、奈良県森林組合連合会、JAならけんとならコープが連携し、吉野町、西谷自治会、(株)南都銀行の協力のもと、「吉野町植樹祭」を開催。組合員3家族8人を含む総勢61人が参加しました。植樹祭では、奈良ひのひかりの利用に伴い、ならコープとJAならけんがともに拠出する「吉野の森と水を守るための募金」を活用して、イロハモミジ20本、山桜11本と「夜の森さくら」(ソメイヨシノ)1本計32本を植えました。「夜の森さくら」は、福島第一原発事故で全町民が町外避難を余儀なくされた福島県富岡町の名所「夜の森桜並木」の直系子孫の苗木。同町は原発事故の記憶を風化させないため、全国に苗木を植樹する「夜の森さくらプロジェクト」に取り組まれており、コープふくしまを通じてならコープへ寄付されたものです。「震災・原発事故を忘れない、風化させない」の想いを新たに、記念植樹もおこないました。



「ヒバクシャ国際署名」にご協力を!

昨年7月7日、核兵器禁止条約が国連総会で採択されました。「核兵器のない世界の実現」に向けて大きな一歩が刻まれた瞬間でした。すべての国が条約に批准して地球上から核兵器をなくすために、私たちのできることとして、「ヒバクシャ国際署名」に取り組んでいます。ならコープでは、2万筆の目標を掲げ昨年12月20日時点で17,687筆の賛同をいただいています。

子どもたちに平和な世界を引きつぐため、是非ご協力をお願いします。※署名用紙は、各支所・各店舗に置いてあります。オンライン署名はこちらの二次元コードから▼



今月の掲示板



2歳の子どもが食物アレルギーで、少量でも症状が出ます。今までは親が食べるものを選んできましたが、同年代と接する機会が増え、特にお菓子類は周りが食べているのに自分だけたべられないことが未だ理解できず泣いてしまいます。つい子どもに強く制止することもありますが、やはりかわいそうだと感じます。これからさらに広がる遊び友だちに毎回アレルギーなので配慮をしてほしいとも言いつづらく悩んでいます。みなさまは、どのようにされているか良きアドバイスをお願いします。

言い聞かせるしかない

大和郡山市 M・Y

お子さんが周りと同じように食べたいと思われるのはもともとですが、もしも誤って口に、アナフィラキシー反応を起こしてしまつてからでは遅いので、食べたらしんどくなるよ、と繰り返して言い聞かせるしかないかと(実際に経験するのが一番ですが、それは危険なので...)。お子さんを不測の事態から守る為にも、言いつづらくとも周りにアナウンスし、理解をしてもらう必要があると思います。意外に、実はウチもなの...と仲間が出来る可能性も。

みんなに知ってもらおう

香芝市 M・H

今はアレルギー用のお菓子が色々出ているので、ママ友の集まりがある時には持参して、試食をすすめてみては...。そして、みんなに知ってもらいましょう。苦しむのは子どもです。親も踏ん張ってください。25年前の自分に言い聞かせた言葉です。

子にも教育してあげて

王寺町 K・H

小学校へ入学するまでは親子一緒に遊びに行く機会が多いので、何でも話



勇気を見習う

天理市 N・A

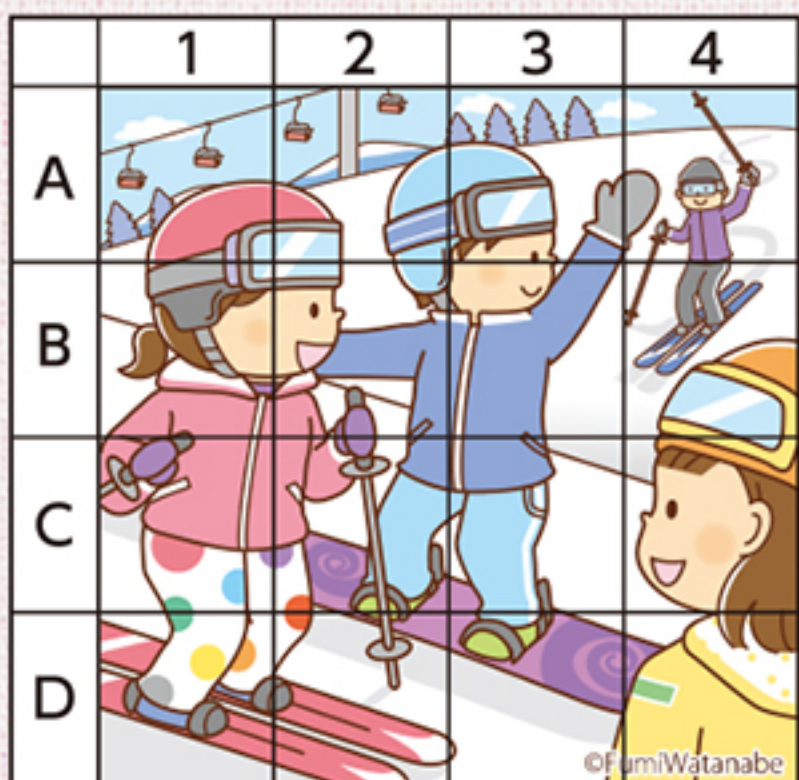
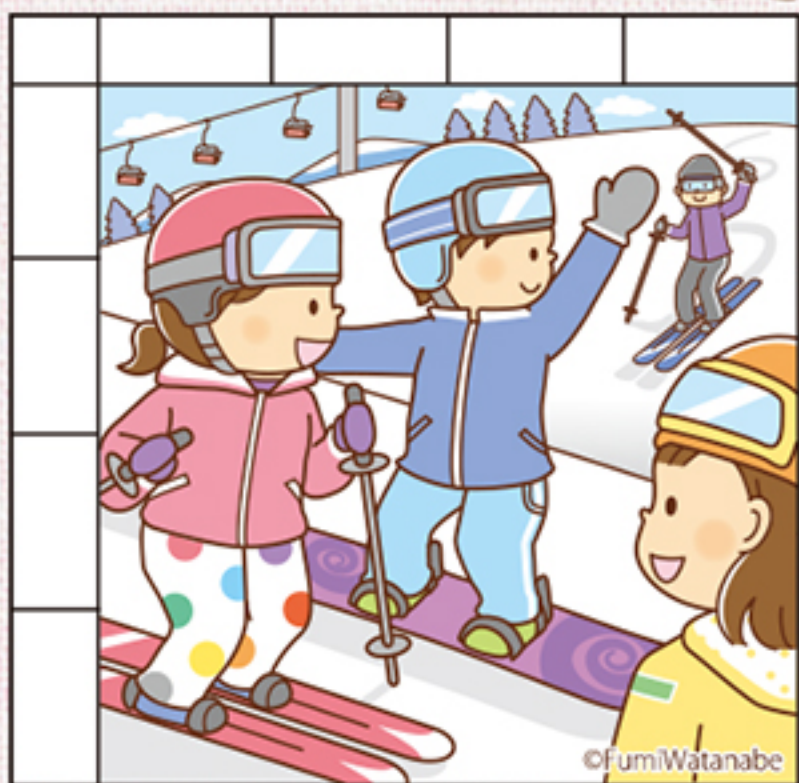
10月中頃の雨の多い日に5歳半になる孫が父親にしかられ「出ていけ」と言われ、Tシャツにパンツ、素足のまま泣きながら、近くに住んでいる私の家へ来るつもりで歩いていったのを近所の方が見ていて、市役所へ通報されたみたいですよ。3、4日後、市の児童福祉課の方がこられ、「小さいお子さん、いらっしやいますか」からはじまつて...皆で笑い話におわつたけど、近所の方の電話する勇氣、私もみないますね。

孫は天才かも?

宇陀市 T・Y

いつもまちがいさがしは3カ所ま

まちがいさがしクイズ ルック
LOOK! 今月の難易度 Aランク
抽選で20名の方に、ならコープ商品券(2,000円)をお送りします。
LOOK!は、イラストをじっくりみるのが肝心です。
解答は、たとえば「A-1」や「B-2」というように書いてください。



印刷の汚れ・カスミなどは当てはまらないよ。
今月の間違いは「4カ所」です。
よく見て探してネ!

11月号のイラストでの正解はこちらの二次元コードから▼

11月号のクイズの答えは「A-4・B-2・C-1・D-3」です。
Bランクでしたので、20名の方に1,000円分のならコープ商品券をお送りします。応募数は、342通でした。



当 選 者

山崎 友梨さん(奈良市)	岡田 祥恵さん(桜井市)	池田 恭子さん(平群町)
松本 千恵子さん(奈良市)	望辺 慶子さん(橿原市)	中浦 郁子さん(橿原市)
安藤 富美さん(田原市)	松本 香織さん(天理市)	吉川 純子さん(橿原市)
阪上 晃子さん(奈良市)	岡田 久代さん(香芝市)	近藤 美何さん(奈良市)
岡田 陽子さん(天理市)	御堂 美佳さん(橿原市)	松井 裕子さん(広陵町)
浦西 多希子さん(五條市)	森田 ひろ子さん(明日香村)	小泉 とも子さん(吉野町)
石井 弥恵子さん(生駒市)	藤田 あゆみさん(大和高田市)	

まちがいさがし「LOOK!」の答えは、ハガキに「何月号のクイズかを明記し、住所・氏名・年齢・組合員番号を記入の上、「あをがき」への意見や感想を添えて下記までお送りください。
〒630-8503 ならコープ「あをがきクイズ係」
※宛先住所記入は不要です
1月31日の消印まで有効です。

周りに伝えるべき

天理市 S・N

私の息子も小さい時に食物アレルギー、犬猫、木・草・ハウスダストのアレルギーも全て出た方でした。食物、お菓子は、自分で持参するか相手さんにも言つて、理解を得ないと、これからの人間関係、コミュニケーションが大変になると思うので、伝えるべきです。

成長過程を見守って

王寺町 O・H

私の孫は乳アレルギーでした。ある程度までは親が食べられるおやつ等を持たせていましたが、ある程度大きくなった頃には何でもかんでも食べることはせず、選んで食べるようになっていました。よ。食べるとしんどくなるので本人もわかってくるでしょうね。今では殆ど何でも食べられるようになっています。子どもは成長期に変化するようなので、気長に成長過程を見守ってあげてください。

コープ七条行ってみた

葛城市 F・Y

コープ七条オープン!!おめでとございませす!!近くを通りながら場所が分からず、ウロウロしていましたが、やっと発見!!とてもきれいな大きなお店です。またお買物が楽しみたいです。コープ六条へ長い間お疲れ様でした。

早くいい人みつけて

香芝市 S・K

息子(千葉県在住、独身)のために生協のお米や食品を送っています。夜勤もある仕事のため、冷凍の弁当も助かるそう。職場のレンジでチンして食べているそうです。早くいい人見つけて、2人で助け合いながらちゃんと食べてほしいと思います。今月も送っています。

皆さまのお便りを募集しています



子どもの大学資金のために、絶賛節約中です。大学入学までの準備や高校の間にしておく事など、アドバイスをお願い致します。

日頃の疑問や悩み、お気軽にお寄せください。
みんなで考えてみましょう。
▲「おたすけVoice!!」にぜひ応援のメッセージを!!
※字数は200~300字程度をお願いします。

締切日:1月31日



お便り採用分には薄謝進呈。住所・氏名・年齢・組合員番号をご記入の上、〒630-8503 ならコープ「あをがき係」まで ※宛先住所記入は不要です



記事についての意見や感想、日々の出来事などを投稿してみませんか?クイズの解答ハガキに書いてもOKです。

早速いっしょにシニアに

大和高田市 Y・M

先月、誕生日がきて65歳になりました。早速、コープ窓口にていっしょにシニアの仲間入りをしました。毎月15日5%オフ以外にも色んな特典があり、ぜひお世話になりたいです。その時はよろしくお願いします。

車の自動運転の夢

天理市 H・Y

私ももうすぐ誕生日で来年は還暦です。赤いものを身につけなきゃいけないのかなあ?60年近く生きてきて、免許(自動車)を持ちながら40年近くペーパードライバーで、ピカピカの免許証をいつも持参しています。最近ニュースで、運転手なき自動運転の走行テストをテレビでよく見ます。生きている間に、そのような車に乗れるのか?車の個室で、大声で歌を歌いながらドライブするのが今の夢です。

① 傾聴ボランティア講座

要申込 無料

話し手のお話を耳で聴くのではなく五感を使って心で一生懸命に聴き、気持ちに優しく寄り添い共に過ごす傾聴について吹田傾聴「ほほえみ」の長谷川先生に教えていただきます。連続3回講座です。

日時 第1回目 1月16日(火) 10時～12時
第2回目 1月23日(火) 10時～15時
(13時から15時まで協同福祉会による学習会「認知症について」を予定しています)
第3回目 2月7日(水) 10時～15時
※昼食は各自ご準備ください。

会場 ならこぼ本部1階会議室 保育 有
講師 長谷川美津代氏(NPO法人市民ネットすいた理事長・吹田傾聴「ほほえみ」代表)

申込・問合せ CSR組織広報部 ☎0742-34-8735(月～金・9時～18時)

② こころのケア講座

要申込 無料

DVやいじめ、その他さまざまな人間関係で傷ついた人の心の回復のための講座を開催します。講座の中では個人的な体験を話す必要はありません。

日程／会場／内容

- ◆1月20日(土) 13時30分～15時 ならこぼ本部 こころのケア講座「女性のみ」[パートナーシップ]
- ◆1月27日(土) 13時30分～15時 ならこぼ本部 こころのケア講座「女性のみ」[精神的暴力・モラルハラスメント]
- ◆2月21日(水) 13時30分～15時 ならこぼ本部 こころのケア講座「女性のみ」[育った環境・子どもへの暴力の影響]
- ◆2月23日(金) 13時30分～15時 ならこぼ本部 こころのケア講座「女性のみ」[コミュニケーション]

共催 男女共同参画研究会いこ～(みんなで考えるDV講座)・ならこぼ

協賛 CO・OP共済 地域ささえあい助成

受講および託児 無料

申込・問合せ 参画ネットなら 松村徳子

☎090-3659-0064(16時～20時)ショートメールも可

※託児を希望される場合は、2日前までにお申し込みください。

③ 2月の子ども料理教室

「コロッケ 温野菜添え」

「チョコチップマフィン」をつくろう!!

要申込 抽選

日程 2月 3日(土) ならこぼ本部 12人
2月10日(土) ならこぼ本部 8人
2月24日(土) ならこぼ本部 8人

時間 いずれも10時～12時30分 参加費 750円

持ち物 エプロン・三角巾・ふきん・手ふき・筆記用具

対象 小学3年生以上。調理実習中は保護者同伴はご遠慮ください。

申込 往復はがきに、組合員番号・(第1・第2)参加希望日と

店名・電話番号・住所・氏名(ふりがな)・学年を明記、

(〒630-8503 ならこぼCSR組織広報部「2月子ども料理教室 宛」)にお送りください。1枚のはがきで2人まで

申込可。2人とも組合員番号・氏名(ふりがな)・学年・電話番号を記入ください。

締切 1月23日(火)必着。応募多数時、抽選。

キャンセル CSR組織広報部(☎0742-34-8735)

まで、必ずご連絡ください。

キャンセル料 2日前(木)・・・450円

前日(金)・当日(土)・・・750円

※参加人数が4人に満たない場合は、

開催されないこともあります。ご了承ください。



④ [ア・マ・テ・ラ・ス講座]

要申込 先着順

自然を活かした省エネ、創エネ、蓄エネハウスの構築について学習します。自然のエネルギーだけで心地よく過ごせる小さな建築物「えねこや」など事例に学びます。

日時 1月23日(火) 14時～16時 定員 20人
場所 サロンドボリ志都美店(JR志都美駅すぐ 香芝市上中2016)
参加費 1,000円(茶菓・資料代込み)

持ち物 筆記用具

先着順 受付開始 1月8日(月)～

締切 1月19日(金)

申込 申込フォーム、メール、電話にて

メール amaterras.j@gmail.com

☎090-8233-9172



⑤ [かしこくなるエネルギー教室] ～普段使っている家電製品の電力量を調査する～

要申込 無料 先着順

省エネワークショップです。普段使っている家電製品の消費電力を調べます。また、計測器を使って炊飯器の炊飯・保温の電気の流れを観察します。

日時 1月27日(土) 10時～12時

場所 ならこぼ本部1階集会室 定員 20人 参加費 無料

講師 ア・マ・テ・ラ・ス

先着順 受付開始 1月8日(月)～ 締切 1月19日(金)

申込 申し込みフォーム、メール、電話にて受付します。

申し込みフォームはこちら→

メール saiene@kyodokikin.com

(一財)再エネ協同基金

☎0742-33-9528(月～金・9時～18時)



⑥ 2018年度 メンバー募集 ならこぼ史跡めぐりグループ

要申込 抽選

お弁当持参の企画です。ウォークは5kmから7km。

コース別の日程

史跡めぐり(全6回)	(火)コース	(水)コース	(木)コース	(金)コース
古墳にねむるのはだれ～天武天皇の皇子たちの墓へ～ キトラ古墳から東明神古墳、マルコ山古墳へ	4月3日	4月11日	3月29日	4月13日
大和川中流を歩く～河内の古墳群とヤマトのつながり～ 高井田横穴群から五手山古墳群へ	5月8日	5月16日	5月10日	5月18日
条坊を歩く～九条大路から六条大路～ 大和郡山かいわいから大安寺へ	6月5日	5月30日	6月7日	6月1日
弥生の里を歩く～新装なった唐古・鍵遺跡史跡公園～ 楼閣から史跡公園、ミュージアムへ	9月4日	9月19日	9月13日	9月21日
二上山のふもとを歩く～中將姫のゆかりを訪ねて～ 当麻寺から石光寺へ、鳥谷口古墳も	10月2日	10月10日	10月18日	10月12日
伊勢斎宮跡を歩く～神につかえた皇女をしのんで～ 斎王の森から斎宮歴史博物館へ	11月6日	10月31日	11月8日	11月2日

講師 ならこぼ史跡めぐり担当講師 小宮みち江

会費 年間3,500円(講師料・資料代・保険料を含む)

定員 火・水・木・金 各コースとも80人

締切 1月31日(水)必着。応募多数の場合は抽選。当落は追って通知します。

申込 往復はがきに ①希望コース(第2希望まで記入可) ②氏名

③年齢 ④住所(必ず郵便番号) ⑤電話番号 ⑥組合員番号

(はがき1枚に2人まで可。2人分の①～⑥)を記入の上、

〒630-8503ならこぼCSR組織広報部「史跡めぐり」係まで。

※各コースは6回共通。回ごとのコース変更(日・曜日)はできません。

⑦ 2018年度 ならこぼ歩く会 メンバー募集

要申込 抽選

10km前後のハイキングコース(中級程度)を平日に歩く会です。集合9時30分頃、解散(現地)15時頃です。

対象 コースを完歩できる健康な人

会費 年間2,000円(通信費、保険料含む) 定員 80人

申込 往復はがきに参加される方の ①住所 ②氏名 ③年齢

④電話番号 ⑤組合員番号を記入の上、〒630-8503

ならこぼCSR組織広報部「ならこぼ歩く会係」まで。

はがき1枚につき2人まで申し込みできますが、2人分の

①～⑤を必ず記入してください。

締切 1月31日(水)必着。応募多数の場合は抽選。当落は追って通知します。

※当選者には集合場所・時間などを書いた詳しい予定表

をお送りします。

回	日程	コース	距離
1	4月13日(金)	御香宮・古御香宮・大岩山展望コース 近鉄桃山御陵前駅～御香宮神社～伏見桃山城～ 古御香宮～大岩山展望所～藤森神社～JR藤森駅	約9km
2	5月11日(金)	山城森林公園から海住山寺へ JR細倉駅～山城森林公園～海住山寺～ 恭仁大橋～JR加茂駅	約10km
3	6月8日(金)	神戸の浜手めぐりコース 阪神大石駅～沢の鶴資料館～みなとのもり公園～ 神戸大橋～しおさい公園～ポートライナー南公園駅	約10km
4	7月6日(金)	大河原から高山ダムへ JR大河原駅～大河原発電所～高山ダム～ 南山城自然の家～道の駅お茶の京都～JR月ヶ瀬口	約8.5km
5	9月21日(金)	平群の里と歴史探訪の道 近鉄竜田川駅～椿井城跡～西宮古墳～紀氏神社～ 長屋王墓～三里古墳～船山神社～近鉄平群駅	約9km
6	10月19日(金)	六甲森林浴の道 元町駅～廣訪山公園～大師道～再山公園～再度公園～ 市が原～布引ダム～布引の滝～みはらし台～新神戸駅	約10km
7	11月9日(金)	詩仙堂・赤山禅院コース 八瀬比叡山口～赤山禅院～詩仙堂～ 田中神社～京阪出町柳駅	約8.5km
8	12月7日(金)	紅葉の正暦寺から帯解寺へ JR帯解駅～高樋町～正暦寺～円照寺～ 帯解寺～JR帯解駅	約10km

⑧ 講演会「なぜ、すすまない? 日本の再生可能エネルギー」

要申込 先着順

パリ協定が発効し、温室効果ガスを大幅に減らすためには、再生可能エネルギーの普及が鍵を握ると言われています。欧米よりも普及が遅れている日本の再生可能エネルギーをすすめるにはどうすればよいか、一緒に考えましょう。

日時 2月3日(土) 13時30分～16時30分(開場13時)

場所 奈良市ならまちセンター 3階 会議室(近鉄奈良駅から

徒歩10分 猿沢池近く)

内容 ①「なぜ、日本では再生可能エネルギーがすすまないのか?」

講師 安田 陽氏(京都大学大学院 再生可能エネルギー経済学講座 特任教授)

②「パリ協定の最新状況」

講師 早川 光俊氏(CASA専務理事 自然エネルギー市民の会事務局)

③質疑応答・意見交換

参加費 500円 定員 90人

主催 特定非営利活動法人サークルおてんとさん

共催 奈良県生活協同組合連合会

申込・問合せ 宮田 ☎090-3846-2766

E-mail otentosan02@yahoo.co.jp

Information



インフォメーション

⑨ ならこぼ産直交流会 ～奈良ロイヤルホテルで学習会と昼食交流会～

要申込 抽選

食の安全への組合員・消費者の関心はますます高まっています。ならこぼでは創立以来顔の見える信頼で結ばれた産直運動に取り組んでいます。今年も組合員と生産者との交流を深め、産直への理解を広げるために産直交流会を開催します。

日時 2月14日(水) 10時55分～14時(受付10時30分～)

会場 奈良ロイヤルホテル

内容 第1部 10時55分～12時

組合員による産直取引先点検・訪問報告

第2部 12時15分～14時

産直品を使った料理を食べながら生産者との交流

定員 100人(抽選) 締切 1月26日(金) 保育 無し

※1部、2部通して参加いただける方のみお申し込みください。

参加費 1,000円 申込時は参加者全員の組合員番号をお伝えください。

主催 ならこぼ 共催 ならこぼ共栄会

申込 CSR組織広報部 ☎0742-34-8735(月～金・9時～18時)

⑩ 「こぼたすけあいの会 (有償たすけあい活動)」説明会

要申込

組合員による高齢者や産前・産後の方などへの家事援助や子育て支援をおこなっています。活動は少しの時間で結構です。ご協力ください。(年齢不問)

日程 1月16日(火)こぼたすけあい会室1 10時30分～12時

1月17日(水)こぼたすけあい会室3 10時30分～12時

1月19日(金)こぼたすけあい会室A 10時30分～12時

持ち物 登録していただける方は、筆記用具・印鑑(認印で可)・

年会費(1,000円)が必要となります。

問合せ CSR組織広報部内 こぼたすけあいの会事務局

(日程以外でも問合せ可) ☎0742-35-1183(月～金・9時～17時)

⑪ 第28回奈良県生協大会 「子どもたちの未来と共生社会を考えるII」

要申込 無料 先着順

子どもたちをとりまく厳しい環境と背景や解決策を聴き、だれもが大切にされる社会の実現をみんなで考えましょう。

日時 2月17日(土) 10時～12時45分

場所 奈良ロイヤルホテル 2階(鳳凰の間)

定員 150人 参加費 無料 保育 有(要申込)

内容 ①講演:子どもたちの未来 今何が必要か 私たちにできること

村井 琢哉 氏(山科醍醐こどものひろば理事長)

②講演:地域の中の子どもたち、記者の眼からみた現実

中塚 久美子 氏(朝日新聞大阪本社生活文化部記者)

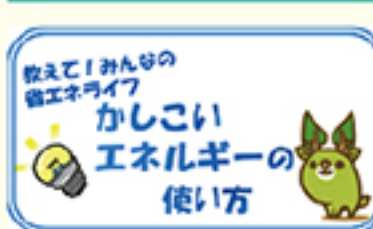
③報告:奈良県内のスクールソーシャルワーカー

主催 奈良県生活協同組合連合会

後援 奈良県・奈良県教育委員会・奈良市・奈良市教育委員会・奈良県社会福祉協議会

申込・問合せ ☎0742-34-3535 (月～金・10時～18時)

⑫ 奈良県エネルギー政策課からのお知らせ ～「かしこいエネルギーの使い方 2017」の募集案内～



かしこいエネルギーの使い方についての取り組み事例や取り組みたいアイデアを募集します。詳しくは奈良県エネルギー政策課ホームページでご確認ください。奈良県エネルギー政策課HP→



http://www.pref.nara.jp/36327.htm

DV・デートDV

※DV…ドメスティック・バイオレンスの略。

DVは内縁関係も含む配偶者間での暴力。そしてデートDVは恋人同士の間で起こる暴力のことです。「夫が妻を殴ったり蹴ったりすること」だけがDVではありません。「殴るふりをする」「怒鳴る」「無視する」「家計を厳しく管理する」「実家や友人との付き合いを制限する」というようなこともDVなのです。「私は関係ないわ」と思っている、何か息苦しいと感じていたらあなたも被害者かもしれません。

恋人同士の間では「携帯電話をチェックする」「好きなら当然と無理に性交渉をする」「別れるなら自殺する」というのも暴力です。

DVは自分が我慢すればいいことではありません。夫から妻への暴力を見て育った子どもたちは「男は暴力的なもの」「女は従順でなければダメ」と考えるようになり、次世代に引き継がれていきます。逆のパターンもありますが、加害者の約9割が男性です。

自分の生活を守るだけでなく、大事な子どもたちを被害者にも加害者にもしないために、正しい知識を持つことが大切です。



ペーパーサートで学習会

だれもがその人らしく

LGBT

「LGBT」とは性的少数者＝同性愛(レズビアン、ゲイ)・両性愛(バイセクシュアル)・体と心の性自認が一致しない(トランスジェンダー)を含む多様な性自認・性的指向の人たちのことです。トランスジェンダーの人たちの中で、とくに体の性と心の性を一致させたいと思う人が、診断により下される医学的な名が「性同一性障害」です。

性的少数者の人口に占める割合は7.6%、13人に1人。学校の40人クラスには約2～3人、左利きの人やAB型血液の人と同じ割合で存在するという報告があります。ほんとうに身近にいる存在ですが、自分の周りにはいないと思いがちです。それは社会全体が「男か女か」という枠で括られていて、LGBTの当事者は無理解や偏見を意識して言い出しにくい環境があるからです。

性同一性障害の人の約80%が小学校高学年になるまでに自分の性別に違和感を持ったと答えています。

自分の性に悩んでいる人が、もしかしたら、あなたの家族の中にもいるかもしれません。だれもがありのままの自分で生きられる社会のためにも学びましょう。

ワーク・ライフ・バランスは、少子化対策の「子育て支援」の一環としてスタートしました。性別や年齢に関わらず、だれもが「仕事」と「仕事以外の生活」の両面を、自分が望むようにバランスをとって展開できる状態のことです。子育て期、中高年期といったそれぞれのライフサイクルにあった形でワーク・ライフ・バランスを具体化していくことが大切です。

「仕事以外の生活」とは、家事、育児、介護などが代表的ですが、価値観、生活スタイルが多様化している現在、地域生活、ボランティア活動、文化活動、学習なども健康で豊かな生活を送るために大事な活動の一つです。

しかし「男は仕事」「女は家事、育児、介護」という性的役割分担の考えが、社会生活の中や企業・職場の中にまだまだ残っているのが現実です。

ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、子育ては女性だけに任せるのではなく、男性も、そして地域社会の中でも見守りサポートができる仕組みづくりが求められています。

他方、職場では長時間労働の是正や働き方改革、職場の意識や風土改革などに取り組むことも課題となっています。



ワーク・ライフ・バランス

あなたも私もみんな“いこ～る”

ならコープボランティアグループ 男女共同参画研究会“いこ～る”

男女共同参画研究会「いこ～る」は、男だから…女だから…という思い込みにとらわれず、だれもが自分らしく生きられる社会の実現を目指しています。前身は、2001年にならコープ内の男女共同参画を進めるために設置された「男女共同参画研究会」です。その後、県下にも活動を広げようと、2008年からならコープのボランティアグループとなり、メンバー自らも学びながら啓発活動に取り組んでいます。近年は行政等からの依頼も多く、男女共同参画の視点で「DV・デートDV」「子育て」「ワーク・ライフ・バランス」「防災」「LGBT」など多岐にわたるテーマの講演会や出前学習会を開催しています。

「男女共同参画」というと堅苦しく思われますが、すべてのテーマに共通していることは「基本的人権」であり、それは「人ひとりが尊重される」ということです。「だれもが自分らしく生きる」には、まず「自分を大切に思えるようになる」ことです。それが「周りの人も大切にできる」ということにつながります。

10月11日に大和高田市の「ヒートハート」で（男女共同参画推進市民会議）の研修会に講師として招かれ、「女性の視点で避難所を考えませんか？」と題して、講演を行いました。参加者からは「女性の立場からの避難所の現状を聞いた」「男女共同参画の認識不足を実感した」「今後のボランティア活動に生かしていきたい」などの声が寄せられました。

また「みんなで考えるDV講座」でも「DVについてもっと知らないといけないと思った」という意見が多かったです。

これからもさまざまな形で、気づきの場を作っていきたいと思っています。



「もしもあなたがリーダーになったら？」避難所運営で気をつけたいことなどたくさん意見が出されました。「大和高田市ヒートハート」で



「下着のサイズなんて言いにくいわ」

「支援物資は届いたけれど」

防災

従来、防災と言えば男性の独壇場で、女性は、裏方でおにぎりを作っていればよいと言われたり、ましてや避難所の運営なんて男性に任せておけばよいという状態で、女性もそれだと思っている節もありました。しかし、それでは防災の場面で女性への視点が欠落します。

これまでの災害時の避難所からは「支援物資の下着などが受け取りにくい」「授乳場所がない」「女性の下着を干す場所がない」「男女のトイレが隣り合っていて使いにくい」「女性が着替える場所がない」「避難所で性被害が出ている」などの声があがっています。また、被災後に女性へのDVが増加していることも報告されています。

もっと、女性の視点で防災や避難所運営に参画し、女性はもちろん子どもや障がい者、妊婦、お年寄りなどにも配慮した防災・避難所作りをすることが大切です。

だれもが協力して防災に取り組むために、意識改革や様々な取り組みを考えましょう。



ご案内

こころのケア講座 1月20日(ならコープ本部) 1月27日(コープみみなし) 2月21日(コープおしくま) 2月23日(コープみみなし)

*詳しくは本紙P.12②をご覧ください。

LGBT当事者からのお話を聞く会 2月25日(奈良県女性センター)…*あをがき2月号インフォメーションでご案内します。

